

消費者教育学習指導案（公民科・公共）

| 消費者教育体型イメージマップの位置づけ （重点領域）生活の管理と契約・・・選択し、契約することへの理解と考える態度 | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 単元名 契約と消費者の権利・責任 単元の目標 (1) 多様な契約及び消費者の権利と責任について理解する。 (2) 多様な契約及び消費者の権利と責任について、具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、主題の解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 (3) 現実社会の諸課題について、よりより社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。 | | | | |
| 単元の学習計画 (1) 様々な契約と法（1時間） (2) 消費者の権利と責任（1時間） (3) よりよい契約を結ぶために（1時間） (4) 消費者の自立と消費市民社会（1時間） 本時の位置付け（3時間目／4時間） | | | | |
| 本時の目標 契約書の作成と具体的事例の検討を通して、契約成立の要件や契約によって生じる権利と責任、トラブルの未然防止などについて考察し、自分の考えを表現することができる。【思考・判断・表現】 | | | | |
| 教材等 『未来を切り拓く法教育～自由で公正な社会のために』法教育推進協議会（法務省） | | | | |
| 過程 | 学習内容 | 生徒の活動 | 教師の活動と指導上の留意点 | 評価の観点方法等 |
| 2分 | ○本時の学習内容の提示 | ・本時の学習内容を知り、学習の見通しを立てる。 | | |
| 36分 | ○契約書の作成 ○事例の検討 ①桃太郎から予想外の指示が出た！ ②キジの報酬が多かった！ | ・グループ内で桃太郎と猿の立場を決める。 ・契約書の内容を確認し、それぞれの立場から、追加すべき事項がないか考える。 ・追加したい内容について交渉し、合意ができれば契約書にサインをする。 ・完成した契約書を提出する。 ・2つの事例について、自分たちが作成した契約書に基づいて、契約の有効性やトラブル未然防止の視点からグループで考察し、ワークシートに記入する。 ・記入したワークシートを提出する。 ・トラブルの要因について自分の考えを記入する。 | ・前時までの学習内容を踏まえて考えるよう助言する。机間指導を行いながら、個別に助言を行う。 ・各班が作成した契約書を確認し、どのような交渉、合意がなされたのか共有する。自分たちが作成した契約書との違いに注目するように助言する。【ICTの活用】 ・前時までの学習内容を踏まえて考察するように助言する。 ・各班のワークシートを確認し、どのような考察がなされたのか共有する。【ICTの活用】 ・前時までの学習内容を踏まえて、論拠を基に表現するよう助言する。 | ・契約書の作成と具体的事例の検討を通して、契約成立の要件や契約によって生じる権利と責任、トラブルの未然防止などについて考察し、自分の考えを表現している。 【思考・判断・表現】（ワークシート） B：契約に関する基本的な考え方についての理解を基に考察し、論拠を持って表現している。 |
| 12分 | ○本時の学習内容の整理 | ・契約の意義や基本原則について復習する。 ・本時の学習内容を振り返る。 | ・各グループの考察過程やワークシートの記述を用いながら、説明する。 ・家庭科においても契約や消費者の権利・責任について学ぶことを伝え、教科横断の視点で捉えることができるよう助言する。 | |

8 本時の評価と手だて

- ・ 契約書の作成と具体的事例の検討を通して、契約成立の要件や契約によって生じる権利と責任、トラブルの未然防止などについて考察し、自分の考えを表現することができていたか。【思考・判断・表現】
 【手立て】 契約に関する基本的な考え方についての学習内容を基に検討事例の具体的場面を考察するとともに、他者や他のグループの発表を参考に考えをまとめるよう助言し、ワークシートの再提出を求める。